



参加無料

神奈川県 WHOエイジフレンドリーシティ推進オンラインセミナー

## ～健康な高齢化を実現するための新たなアプローチ～

神奈川県は超高齢社会を乗り越えるため、ヘルスケア・ニューフロンティア政策を推進し、世界保健機関（WHO）と連携しながら健康な高齢化に向けたイノベーションの促進や新たな知見の共有等に取り組んでいます。

WHOが推進する「高齢者のための包括的ケア（ICOPE）」は、病気に焦点を当てるのではなく、運動・認知機能などの能力を把握して、総合的な支援を行う枠組であり、高齢者に関わる様々な組織・機関等にとって参考になるものです。また、WHOは昨年12月に慢性腰痛に関するガイドラインを作成して、腰痛を、高齢者の移動能力を制約し、社会参加の能力にも影響を与える、重要な公衆衛生の課題としています。

そこで、WHOや学術機関の協力も得て、ICOPE及び慢性腰痛管理、さらに演劇手法を用いた健康教育プログラムなどについて、神奈川県内の自治体や高齢者施設、地域コミュニティ等に対してオンラインセミナーを開催します。

**開催日時：2024年3月25日(月)15時30分～17時(ZOOM)**

- 主な対象者：市町村の高齢者施策担当者／自治会など地域コミュニティの方／高齢者施設等の職員／介護分野を学ぶ学生、機能の維持や低下の防止に関心のある中高年層
- 主な登壇者：



**角 由佳**  
WHOメディカルオフィサー／  
神奈川県顧問・神奈川県立  
保健福祉大学招聘教授



**兪 炳匡 (ユウ ヘイキョウ)**  
神奈川県立保健福祉大学  
教授

※プログラムは裏面



お申込み



[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_7x9CGq\\_xjT4me8tUyoW-wqg](https://zoom.us/webinar/register/WN_7x9CGq_xjT4me8tUyoW-wqg)

左記二次元コード又は上記リンクからウェビナーにご登録ください。

申込み期日：3月21日(木)

<主催> 神奈川県

神奈川県 WHOエイジフレンドリーシティ推進オンラインセミナー  
～健康な高齢化を実現するための新たなアプローチ～  
プログラム

2024年3月25日(月)15時30分～17時 (ZOOM)

15:30-15:35 開会

挨拶：神奈川県知事 黒岩 祐治 (ビデオレター)

15:35-16:00 高齢者のための包括的ケア (ICOPE) の意義及び  
それに係る慢性腰痛管理

講演：WHO 母子・新生児・思春期保健及び高齢化部  
角 由佳 メディカルオフィサー

講演者プロフィール

京都府立医科大学医学部卒業、大阪大学で医学博士取得。ハーバード大学医学部に留学。順天堂大学医学部救急災害医学及び同ジェロントロジー講座先任准教授を経て、2016年6月から神奈川県庁勤務。同年12月に県からWHOに派遣。2020年9月からWHOの職員となり、同年10月から神奈川県顧問、2021年9月から神奈川県立保健福祉大学招聘教授。

16:00-16:25 県内自治体のエビデンス分析により得られた知見と  
他自治体の通いの場分析事例

講演：日本老年学的評価研究機構 (JAGES)

- ①横山 芽衣子 千葉大学予防医学センター特任研究員
- ②井手 一茂 千葉大学予防医学センター特任助教

講演者プロフィール①

2012年京都府立大学大学院修了 (学術博士)。管理栄養士、健康運動指導士として従事したのち、2016年より千葉大学予防医学センター特任研究員、2019年よりJAGES機構研究員。

講演者プロフィール②

2020年千葉大学大学院修了 (医学博士)。同年、千葉大学予防医学センター社会予防医学部門特任研究員に着任し、2022年、同部門特任助教。2023年、健康まちづくり共同研究部門特任助教。

16:25-16:55 演劇手法で行動変容を促す健康教育プログラム

講演：神奈川県立保健福祉大学・早稲田大学 (兼任)  
兪 炳匡 (ユウヘイキョウ) 教授

講演者プロフィール

北海道大学医学部卒業後、ハーバード大学より修士号、ジョンズ・ホプキンス大学より博士号 (PhD) 取得。スタンフォード大学医療政策センター研究員、米国疾病管理予防センター (CDC) エコノミスト、ロチェスター大学助教授、カリフォルニア大学デービス校准教授で、医療経済学の研究と教育に従事。2020年から神奈川県立保健福祉大学教授、2023年から早稲田大学教授兼任。

16:55-17:00 閉会

主催・お問合せ

神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室  
TEL 045-210-2720 (国際戦略グループ)